

内閣総理大臣 鳩山 由紀夫 様
防衛大臣 北澤 俊美 様

国会ピースサイクルで 2010年5月28日

米軍普天間基地の即時・無条件閉鎖を求め、 沖縄県内外移設に反対する要請書

私たちピースサイクル全国ネットワークは、この間、自転車で全国の人々と地域を結び、平和、人権、環境保護を訴え、今年で25周年を迎えました。

63年前の日本帝国によるアジア・太平洋地域での植民地支配と侵略戦争の歴史を学び、この日本とアジア、世界の平和を目指して毎年夏に自転車を走らせ、全国をリレーしながら、平和メッセージを集め、沖縄、広島、長崎、六ヶ所村、国会に届けています。

また、海外においても韓国、中国の南京・東北、ベトナム、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポールなど、アジア各地にも自転車を走らせ、現地の人々と共に旧日本軍の侵略の実態を確認し、戦争被害者の訴えに耳を傾けてきました。

今、沖縄県民の声に耳を傾ければ、「基地のない沖縄」、「基地のない平和な島」が沖縄県民の声であり、沖縄での米軍基地負担を軽減することが日本国民総体の声であると思います。政府および防衛省は、この声や民意に真摯に応えるべきです。基地を辺野古、徳之島への移設するのではなく、普天間基地の即時閉鎖、米海兵隊の撤退を米国に求めるべきです。そして、日米安保条約を破棄し、軍事同盟によらない平和で対等、民主的な日米関係を構築していかなければなりません。

とりわけ、日米安保条約の延長上に、沖縄県内に普天間基地の代替施設が建設されることに新政権の公約違反を強く指摘し、日米安保条約の見直し、米軍普天間基地の即時・無条件閉鎖を下記の通り求めます。以下、具体的に要請します。

記

- 1 辺野古への基地建設断念と普天間基地の無条返還を求めます。
- 2 そのための日米間の交渉を速やかに行うこと。
- 3 沖縄の米軍基地の集中は、戦後の米軍占領状態のままです。基地の押しつけは、沖縄差別と呼ばれるべきもので容認できません。沖縄に存在するすべての米軍基地の返還を求める交渉を行うこと。
- 4 日米安保条約の見直し、破棄をすること。
- 5 在沖縄米軍再編による、沖縄での自衛隊の軍備の増強等を行わないこと。

以上

ピースサイクル 2010 全国ネットワーク

連絡先 東京都千代田区三崎町 2-6-2 ダイナミックビル 5F たんぽぽ舎内
担当者 平田 一郎(080-5386-9921)ピースサイクル